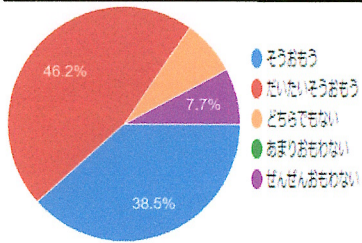
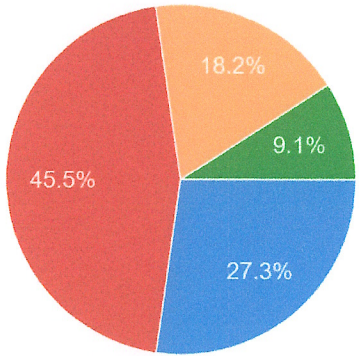


児童アンケート結果（上段…昨年度11月実施 下段…今年度7月実施）黄色箇所は評価向上・青色箇所は低下

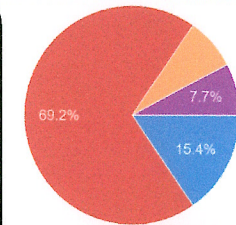
① べんきょうをして わかたり できるようになったりすることがたのしい。



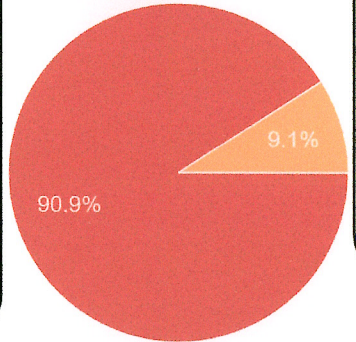
肯定的回答率が約12%低下していますが、E評価はなくなりました。引き続き、各種データに基づき、一人ひとりの学力状況を把握しながら、学習意欲を向上させる授業づくりを工夫してまいります。



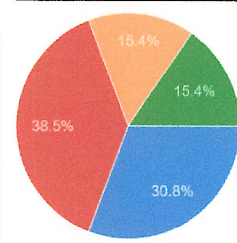
② じゅぎょうちゅうに せんせいがいないときでも じぶんからすすんで べんきょうをしている。



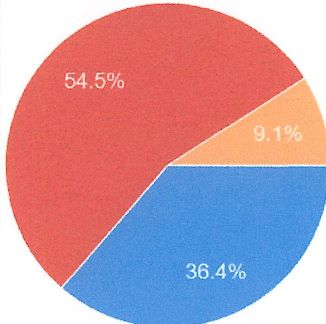
肯定的回答率が、9割を超え、否定的回答が0になりました。これまで追究してきた複式指導における間接指導の授業スタイルが成果を上げています。今後も、主体的に学んでいく姿勢を伸ばしていきます。



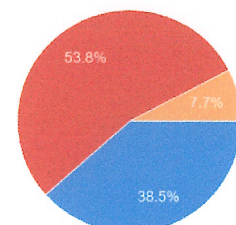
③ むずかしいことや できないことがあっても あきらめないで がんばって べんきょうをしている。



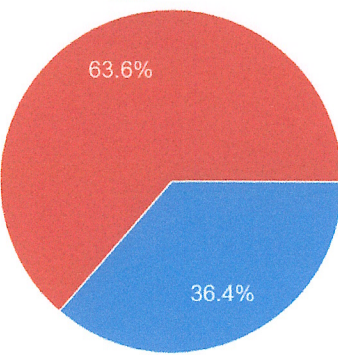
肯定的回答率が23%向上し、9割を超えました。また、否定的回答率が0となりました。今後も、頑張りを認め、成長を振り返る指導を続けていくことで、失敗を恐れず挑戦していく意識を学校全体で育てていきます。



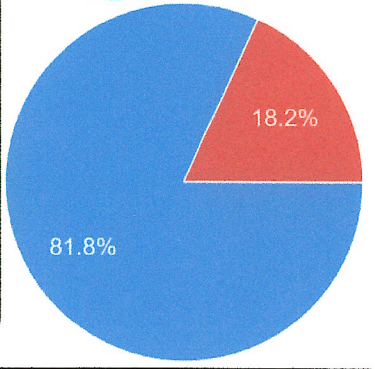
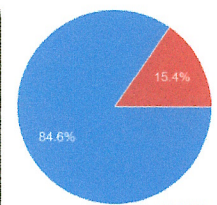
④ がっこうは たのしいとおもう。



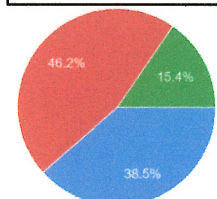
もともと④と⑤の項目の肯定的回答率は高いのが本校の特色ですが、今回はどちらも100%。Hyper-QUの回答結果と照らし合わせても、同様の傾向が見られます。引き続き「自分たちで楽しい学校をつくる」意識を育てていきます。



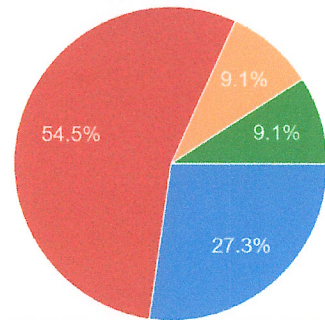
⑤ せんせいや ともだちとあそんだり おはなししたりしている。



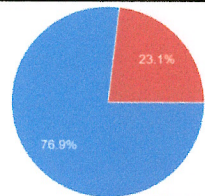
⑥ ともだちのために じぶんができることはしている。



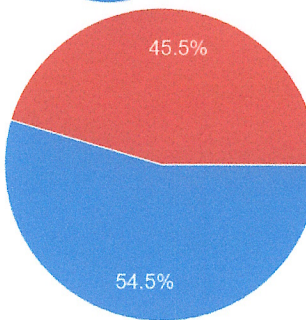
肯定的回答率は、前回とほぼ同様の傾向ですが、否定的回答率が低下しています。児童数が減り、一人あたりの活動の幅が大きくなっていることも影響していると考えられます。



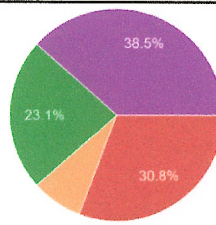
⑦ うんどうがすきで たくさんからだを うごかしている



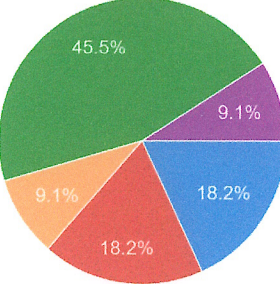
前回同様に肯定的回答率が100%となりました。体力テストの結果を分析し、課題を基に体力・運動能力を向上させることが目標です。



⑧ はやね はやおきができています。

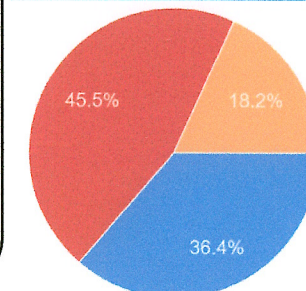


E評価が30%近く減少しているのは、家庭と危機感を共有し、子どもが、以前より健康的な生活習慣の重要性を意識化しつつあるためです。否定的回答率が5割を超えているので、最大の課題の一つです。引き続き、家庭でも学校と連携した指導と呼びかけをお願いいたします。



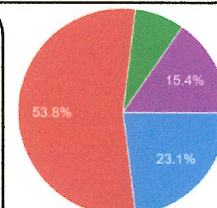
⑨ ネットやゲーム などがなどは けんこうにすこせるよう かんがえて おこなっている。

今回から新設した質問項目です。

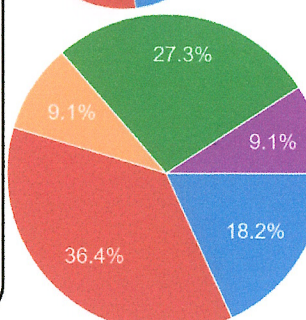


否定的回答率が0という結果でした。保護者アンケートの結果や、担任との見取りと乖離が見られます。まず子どもの現状認識そのものを課題と捉える必要があります。

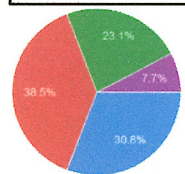
⑩ すききらいをしないで しっかりたべている。



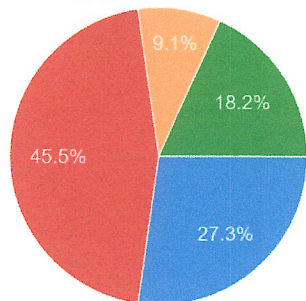
肯定的回答率が約20%低下し、否定的回答率が増えています。学校と家庭どちらも健康的な食生活への指導が大切です。



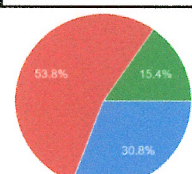
⑪ じぶんからすすんで ほんをよんでいる。



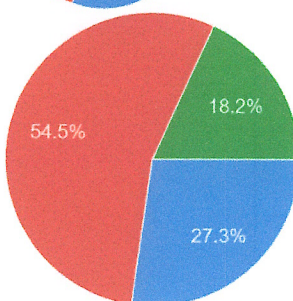
前回とほぼ同様の傾向ですが、否定的回答率が減少しています。今後も読書に関する関心を高める取組を進めます。



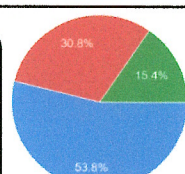
⑫ しっぱいや まちがいを こわがらずに ちょうせんしている。



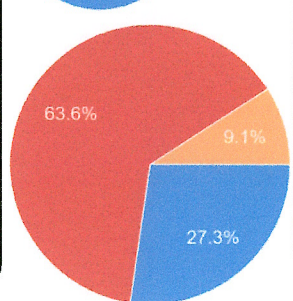
前回とほぼ同様の傾向が続いています。新しいことにチャレンジする活動を計画的に取り入れることも検討中です。



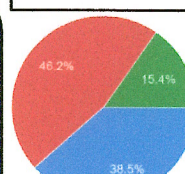
⑬ じぶんからすすんであいさつをしている。



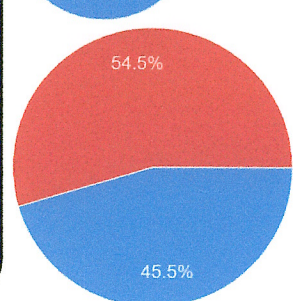
肯定的回答率が9割を超え、否定的回答が0となりました。A評価が低下したのは「自分から」という視点を意識化しつつあるからです。さらに子ども自らが「どうあるべきか」を考える取組も重要です。



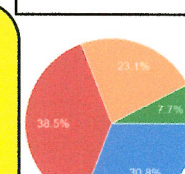
⑭ ともだちのいいところを みつけている。



肯定的回答率が100%となりました。各学級で支持的風土を広めてきた成果です。今後も、子ども同士が励まし合うことで⑫や⑮の項目も向上が期待できます。



⑮ じぶんには わるいところだけではなく いいところも あるとおもう。



肯定的回答率も否定的回答率もそれぞれ10%ほど高くなっています。否定的回答をした子は、⑫の項目も同様の回答をしています。今後も挑戦して達成する経験を自信につなげていく活動や、子ども同士の励まし合いを、大切にしていきます。

